


写真  
募集中!

## わが家の愛ドル ～3月生まれ～


申込みは  
こちら▶




**山本 芽依ちゃん (2歳)**  
芽依ちゃんお誕生日おめでとう♡  
これからの成長が楽しみです。  
保育園も頑張ってるね♪




**竹中 心都ちゃん (3歳)**  
食べるの大好き  
いしんぼう娘♡  
元気に3歳おめでとう！  
春からはいよいよ幼稚園♪  
楽しみだね！




**山本 惺彩ちゃん (2歳)**  
たくさん笑顔で  
幸せくれるほくあちゃん♡  
これからはほくあらしく元気に  
いっぱい大きくなってね♪




**庄田 陽織ちゃん (1歳)**  
ひおくん1歳のお誕生日おめでとう！  
この1年も家族みんなで素敵な思い出たくさん作るうね！



**井藤 陽菜乃ちゃん (3歳)**  
毎日ひなのの笑顔に元気をもらっているよ♪  
これからも笑顔いっぱい毎日を送ろうね♪



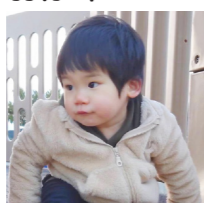
**坂本 桜叶ちゃん (1歳)**  
誕生日おめでとう♡  
いつも元気いっぱい  
たくさん笑顔ありがとう。  
これからもますます大きくなってね！



**中松 澤音ちゃん (2歳)**  
2歳のお誕生日おめでとう！  
しゃぼん玉が大好きでいつも笑顔に癒やされています♡



**羽竹 玲ちゃん (2歳)**  
いつも面白くて、  
パパとママをたくさん笑わせてくれてありがとう。  
これからもみんなを笑顔にさせてね。



就学前の4月生まれのお子さんの  
写真を募集します [抽選]。  
3月10日⑩までに上記二次元コードからお申し込みください。  
☎ 企画広報課 広聴広報係  
☎ 0739 (26) 9963  
📄 <https://www.city.tanabe.lg.jp/kouhou/wagayanoidol.html>

## たなべスマイル



しんや むっこ  
新谷 睦子 さん

上秋津

フルーツを囲み笑顔あふれる時間を

今のフルーツカッティングという仕事を知ったのは、約10年前の大阪での食品展示会でした。果物を無駄なく美しく美味しくカットする技法にとっても感動しました。

薄く切ることや果物の皮に切れ目を入れるなどのひと工夫は、同じものでも食感が変わり、食べやすさもグッと変わることで、果物を美味しくたくさん食べられます。そうした食べやすさも含めて、どのようにフルーツを彩るのか考える時間も楽しさの一つになっています。

フルーツカットの講座や食育教室も行っており、子どもたちが自分でフルーツを切ることができれば、フルーツを食べる習慣につながることや、周りの方と食べる楽しさを共有することができて、食を楽しむきっかけになると考えています。

フルーツカットの楽しさを追い求める中、人の縁もあったことでたどり着いた今。お客様にとって少しでもフルーツを楽しむことができる時間をお届けできることや、果物の美味しさを共有できる毎日がとても楽しく、フルーツカッティングに出会って人生が変わりました。

14 海の豊かさを  
守ろう



## 青春キラリ！高校生レポーター

SDGs を考えて



### 新庄漁協の取組について

写真・文 田辺工業高等学校 山田 登輝央

今回、新庄漁協の組合長の橘さんに取材しました。橘さんは乱獲による海藻や魚の減少を食い止め、海を昔の豊かな状態へ戻していこうと活動されています。

海藻や魚の捕る量の管理ができていないという課題に対し、ヒロメは深くまで潜って捕りすぎないように箱眼鏡を使って捕るようしたり、イサキは20cm以下を海に戻したりするなど様々な取組をしているそうです。その他にも「藻場再生」や「海底耕うん」などの海の環境を整える活動もしています。その成果が出て、ひじきが5トン以上採れるようになったそうです。

しかし、最近はプラスチック製品のポイ捨てや環境汚染によって海の生態系の変化も問題視されているそうです。これから僕たちにできることは、プラスチックなどのごみのポイ捨てをなくして、もっと自然に寄り添って生活することが大切だと思いました。



## 第26回 | ミナラのキラキラ たなべ日記

～ Authentic Kishu Binchotan ～  
オーセンティック紀州備長炭

アゼルバイジャン生まれ  
カナダから来ました  
ミナラ・シュキュロワです♪



子どもの頃、Samovar・çayı (サモワール・チャイ) という飲物を入れるときにサモワール (湯沸かし器) に炭を入れるのが好きで、よく父とバザーで炭を買いましたが、炭の種類や作り方については何も知りませんでした。秋津川が紀州備長炭発祥の地と聞き、ずっと訪問したいと思っていた紀州備長炭記念公園に家族と一緒にきました。

公園内にある発見館では、炭の歴史や昔からの伝統的な製法などについて展示されていました。子どもたちは紀州備長炭で作った炭琴をたたき、そのきれいな音色に盛り上がっていました。発見館の横のレストランで備長炭の粉末を練りこんだ真っ黒な備長炭ラーメンと炭ケーキを食べ、スプーンの代わりに備長炭のマドラーを使い、備長炭コーヒーを飲みました。これは初めての体験で、とても楽しむことができました。

世界中で炭は作られていますが、品質にこだわり、いろんなことに活用している紀州備長炭が一番だと思います。

